

科目名 (科目番号)	障がい者スポーツ論 (時間割参照)	教員名 永井 智 鈴木 康文 渡邊 昌宏	学科等	理学療法	選択	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	演習	オフィスアワー	月3・A304研究室(永井)	
授業概要		障がいや障がい者の理解を深め、障がい者スポーツ活動について実践例を紹介しながら基礎理論を学ぶ。また、障がい者のスポーツ参加支援の際に、健康や安全管理に配慮した指導を行なえるように、障がい者スポーツを実際に体験したり、指導法について学習する。					
目的・目標		目的:障がい者スポーツの現状とその施策、振興など基本的内容を理解し、スポーツ活動を用いて障がい者へのサポートが行える基礎的能力を学習する。 目標:障がい者とスポーツ活動との関わりを学ぶことにより、障がいのある人が安心・安全にスポーツを楽しむことができるようにサポートすることができる。					
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。					
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	障がい者スポーツの意義と理念	学習内容:障がい者スポーツの捉え方やその意義、効果について学ぶ。 到達目標:障がい者スポーツの基本理念を理解する。				
	2	障がい者スポーツに関する施策	学習内容:障がい者スポーツ関連施策について学ぶ。 到達目標:スポーツ基本法・スポーツ基本計画から障がい者スポーツのあり方を考えられる。				
	3	コミュニケーションスキルの基礎	学習内容:障がい者とのコミュニケーションに必要な留意点・ポイントを学ぶ。 到達目標:障がい者とのコミュニケーションにおいて配慮すべき点を理解する。				
	4	障がいの理解とスポーツ (肢体不自由)	学習内容:障がいの主な特性を学び、安全にスポーツを実施させるため手法を学ぶ。 到達目標:肢体不自由の特性に配慮し、安全にスポーツを実施させる知識を身につける。				
	5	障がいの理解とスポーツ (視覚・聴覚障害)	学習内容:障がいの主な特性を学び、安全にスポーツを実施させるため手法を学ぶ。 到達目標:聴覚視覚障害の特性に配慮し、安全にスポーツを実施させる知識を身につける。				
	6	障がいの理解とスポーツ (内部障害)	学習内容:障がいの主な特性を学び、安全にスポーツを実施させるため手法を学ぶ。 到達目標:内部障害の特性に配慮し、安全にスポーツを実施させる知識を身につける。				
	7	障がいの理解とスポーツ (知的発達障害)	学習内容:障がいの主な特性を学び、安全にスポーツを実施させるため手法を学ぶ。 到達目標:知的発達障害の特性に配慮し、安全にスポーツを実施させる知識を身につける。				
	8	障がいの理解とスポーツ (知的発達障害・精神障害)	学習内容:障がいの主な特性を学び、安全にスポーツを実施させるため手法を学ぶ。 到達目標:知的発達障害・精神障害の特性に配慮し、安全にスポーツを実施させる知識を身につける。				
	9	スポーツ指導上の留意事項 (安全管理)	学習内容:スポーツを実施する際の安全管理の基本的な項目と内容について学ぶ。 到達目標:障がい者のスポーツ指導上の留意事項を理解する。				
	10	各障がいのスポーツ指導上の留意 点と工夫	学習内容:障がいの主な特性を学び、安全にスポーツを実施させるため手法を学ぶ。 到達目標:各障害の特性に配慮し、安全にスポーツを実施させる知識と技術を身につける。				
	11	各障がいのスポーツ指導上の留意 点と工夫	学習内容:障がいの主な特性を学び、安全にスポーツを実施させるため手法を学ぶ。 到達目標:各障害の特性に配慮し、安全にスポーツを実施させる知識と技術を身につける。				
	12	障がい者スポーツ指導者制度	学習内容:障がい者スポーツ指導者制度や指導者の役割、スポーツ・インテグリティについて学ぶ。 到達目標:障がい者スポーツ指導者の役割や責任について理解する。				
	13	全国障害者スポーツ大会の概要	学習内容:全国障がい者スポーツ大会の開催目的や実施競技など概要を学ぶ。 到達目標:全国障害者スポーツ大会が果たしている役割について理解する。				
	14	障がい者スポーツ推進の取り組み	学習内容:障害者スポーツを推進する取組について事例を踏まえて紹介する。 到達目標:理学療法士が障がい者スポーツ推進のために何が出来るかを考える。				
	15	障がい者との交流	学習内容:スポーツ活動している障がい当事者の体験談を聞く。 到達目標:障がい者スポーツの指導者として留意することを考える。(外部講師:茨城県障害者カヌー協会 朝日省一)				
成績評価の方法・基準		※対面・オンライン時共通:障害者スポーツ等の観戦・体験、ボランティア活動に関するレポート課題(60%)と各授業後の小テスト(40%)により成績評価を行なう。					
教科書	障がいのある人のスポーツ指導教本(初級・中級)		(公財)日本障がい者スポーツ協会(編)		株式会社ぎょうせい		
参考図書	初めて携わるメディカルスタッフのための障がい者スポーツ 茨城県パラスポーツガイド		青木隆明(編) 松原豊・齊藤まゆみ・杉山文乃(編)		メジカルビュー社 ジアース教育新社		
教員からのメッセージ		公益財団法人「日本パラスポーツ協会」公認障がい者スポーツ指導者制度初級スポーツ指導員資格取得に関わる科目になります。 障がい者スポーツの指導・トレーナー経験のある理学療法士がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。					

科目名 (科目番号)	()	教員名		学科等			履修年次	
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	
				授業形態		オフィスアワー		
授業概要								
目的・目標								
準備学習								
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
成績評価の方法・基準								
教科書								
参考図書								
教員からのメッセージ								

科目名 (科目番号)		教員名		学科等			履修年次	
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	
				授業形態		オフィスアワー		
授業概要								
目的・目標								
準備学習								
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容					
成績評価の方法・基準								
教科書								
参考図書								
教員からのメッセージ								